

2026年6月15日

各位

会社名	株式会社フロンティアハウス
(コード番号)	5528 TOKYO PRO Market)
代表者名	代表取締役社長 CEO 佐藤勝彦
問合せ先	取締役 CMO 兼経営管理部長 古谷幸治
T E L	045-319-6345(代)
U R L	https://www.frontier-house.co.jp/

上場目的の開示について

当社は、本日開催の取締役会において、下記のとおり株式会社東京証券取引所 TOKYO PRO Market(以下「TOKYO PRO Market」といいます。)への上場目的に関して決議いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 上場目的及び活用方針

当社は、「不動産×建設×DX」の融合による独自価値の創出を強みとし、投資用不動産及び居住用不動産の企画・開発・販売を中心とした不動産開発事業や、不動産賃貸管理事業等を総合的に展開しております。また、不動産オーナー、入居者及び投資家等(以下「ステークホルダー」といいます。)や地域社会との共創を重視し、持続的な企業価値向上を目指した事業運営を推進しております。

昨今の不動産業界においては、人口動態の変化、建築コストの高騰、DXの普及及びESG・サステナビリティへの対応等、多面的に変化しております。当社は、こうした市場環境の変化を成長機会と捉え、既存事業の深化及び新規事業の創出を通じた持続的成長を実現するため、TOKYO PRO Market への上場を重要な成長戦略の柱として位置付けております。

その主な目的及び方針は、以下のとおりであります。

(1) コーポレート・ガバナンスの強化

持続的成長を支える強固な経営基盤を構築するとともに、ステークホルダーや地域社会から信頼される企業体制の確立に向けて、財政状態及び経営成績の透明性の向上を図ってまいります。そのために、社内規程等の整備や、職務分掌、職務権限及び業務フローの明確化等を通して、内部統制、コンプライアンス及びコーポレート・ガバナンス体制の強化を推進してまいります。

(2) 財務基盤及び資本政策の強化

金利及び物価の上昇や、不安定な国際情勢によるエネルギー資源の価格高騰等へ対応しつつ、加速度的な事業の成長を展開するために、エクイティ及びデットを含めた多様な資金調達手段の確保を目指し、機動的な経営判断を可能とする財務基盤を構築してまいります。また、3年から5年後の売上高及び営業利益の成長を見据えるとともに、今後は外部株主(不動産に関する仕入、販売、建築、サービス提供会社及びその他異業種会社)との戦略的な資本業務提携を推進することで、資本政策の柔軟性向上を図ってまいります。

(3) 業務改革及び成長投資の強化

業務プロセスの最適化を推進し、属人化の解消及び個人のスキルに依存しない「再現性のある成長モデル」を実現するために、DXの推進及びAI活用を強化することで、判断力の向上及び創造性の最大化を図り、ネットワーク型経営を確立してまいります。

(4) 企業価値向上及び中長期的なビジョンの実現

当社は、グロース市場等の一般市場への将来的なステップアップを視野に入れ、一般市場への上場を単なる資金調達手段ではなく、「どのような企業を目指すのか」を社会に示す重要な機会であると考えております。そのために、既存事業の成長に加え、新規事業の創出及び育成を推進しながら、上場目的の実現に向けて継続的に進捗評価を行っていく必要があります。また、成長可能性に関する情報開示の推進、中期経営計画の精緻化及び監査法人・証券会社との協議等といった上場準備プロセスを踏みながら、「時価総額 100 億円以上」を含む上場維持基準の充足を図り、2031 年頃を目途に一般市場への上場を目指しております。

2. 今後の展望

当社にとって上場は単なるゴールではなく、持続的な企業価値向上に向けたスタート地点であると認識しております。今後も、強固な経営基盤の構築や資本市場との対話強化を通じて、企業価値の最大化を図り、ステークホルダーや地域社会に対する責任を果たしてまいります。

以上